

ガソリン・軽油の暫定税率廃止に向けた 補助金の段階的拡充について

2025年11月

**資源エネルギー庁
燃料流通政策室**

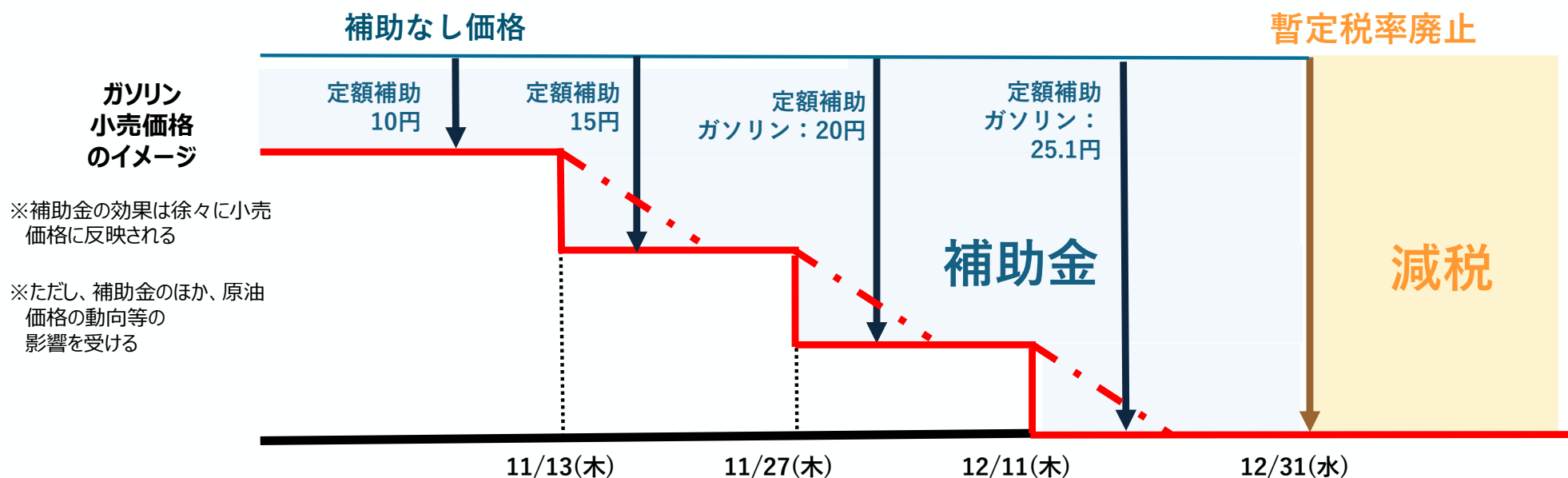
ガソリン・軽油の暫定税率廃止に向けた補助金の段階的拡充について

- 急激な価格変動による流通の混乱を抑えるため、ガソリン・軽油に対する補助金（定額引下げ措置）を当分の間税率（いわゆる暫定税率）と同水準まで段階的に拡充する。
- 1回あたりの変動幅を最大5円程度に抑えながら、以下のとおり支給単価を拡大する。
- そのうえで、ガソリンの暫定税率は、本年12月31日に廃止するとともに、軽油の暫定税率は、令和8年4月1日に廃止するとされた。

＜補助金拡充のスケジュール＞

	現行	11月13日	11月27日	12月11日
ガソリン	10円/L	15円/L	20円/L	25.1円/L
軽油	10円/L	15円/L	17.1円/L	17.1円/L

※その他の油種については、従前どおり（重油・灯油：5円/L、航空機燃料：4円/L）



円滑な流通を確保するための資源エネルギー庁の取組

(1) 消費者（ユーザー）に対する周知・広報

- 消費者の買い控えを防ぐため、補助金の段階的な拡充等について、SS現場、政府広報、事業者のSNS等を通じて、消費者向けに周知・広報
- 買い控えや災害時の混乱（パニックバイ）を抑制するため、もしもの災害に備え、こまめに給油する「満タン運動」への協力を呼びかけ

(2) 安定的な供給を確保するための対応

- 燃料の在庫不足のリスクを低減させるため、元売各社へ安定供給に向けた取組や、SS事業者へ在庫の平準化に関する協力を依頼

エネ庁から、石油元売各社（石油連盟）、石油販売事業者（全国石油商業組合連合会）への依頼

- 石油元売各社においては、冬場の需要期で配送体制がタイトとなる中、中小・小規模SS事業者に配慮しつつ、需要の変動等に柔軟に対応できるよう、配送計画を見直すなど安定供給に向けた最大限の努力を行うこと。
- SS事業者においては、在庫状況を適切に把握し、配送体制を過度に逼迫させることがないよう、在庫の平準化に努め、安定供給に向けた最大限の努力を行うこと。

(3) 中小・小規模事業者への経営への影響に対する配慮

- 在庫回転が短い大規模事業者による販売が、周辺の中小・小規模事業者へ影響を与えないよう、適正価格での販売を呼びかけるため、公取委・エネ庁の連名で事業者への協力を依頼

公取委・エネ庁から、全国石油商業組合連合会、燃料油価格激変緩和補助金対象事業者への依頼

- 各SS事業者は、卸価格及び適切な供給に要する費用を反映した適正価格での販売を行うこと。
- 公取委「ガソリン等の流通における不当廉売、差別対価等への対応について」を踏まえて取り組むこと。

【参考】「満タン&灯油プラス1缶運動」の推進（自衛的備蓄）

- 東日本大震災、熊本地震、北海道胆振東部地震、さらに2024年1月の能登半島地震などでは、発災直後のSSにおいてガソリンや灯油等を買求めるパニック・バイが度々発生し、渋滞の発生等により緊急車両の通行等にも支障が生じている。
- こうしたパニック・バイを防ぐ観点から、災害時に備えた自衛的備蓄（日頃からの石油製品備蓄）が非常に有効であることから、経済産業省と全石連（全国石油商業組合連合会）・石油組合は、2017年度から、「満タン&灯油プラス1缶運動」を全国展開し、消費者や需要家等向けの啓蒙活動を実施。

災害に備えて

車の燃料は満タンですか？

満タン&灯油 プラス1缶運動

ひとかん

車の燃料メーターが
半分程度になったら
満タンに。
灯油はシーズン中に
1缶多めに保管。

車は災害時に役立ちます

災害時、車はプライバシーの確保された一時避難場所となります。さらに、車の燃料が満タンであれば、冷暖房が効いた快適な空間で、車内ラジオからの情報収集やスマホの充電ができるというメリットがあります。

「満タン&灯油プラス1缶運動」公式キャラクター 満タンちゃん

詳しくはこちら <https://mantan-undo.jp/>

全石油商業組合連合会
〒100-0014 東京都千代田区永田町2丁目17-14 402号
TEL: 03-5553-6811 (内線) FAX: 03-5550-9245

満タン&灯油プラス1缶運動とは？

「満タン&灯油プラス1缶運動」は、大規模災害発生直後にガソリンや灯油が入手困難になることを避けるため、日頃から車の燃料を満タンにしておくことや、灯油を1缶多めに保管しておくことを推奨する運動です。暖房用の灯油は1缶多めに保管することを心がけることで、災害時に備える活動になります。本運動は、2016年に発生した熊本地震の翌年2017年から始まりました。

検証結果

実際にガソリン車を満タンにして実験したところ、55リットルの車であれば、**約2日間車内で過ごせる**という結果になりました。また、灯油が1缶あれば**約3日間暖がとれる**ことも実験結果から分かったので、冬場の非常用燃料としては非備えていただきたいです。

使用車種: トヨタノア(ガソリン車)
充電対象: iPhone12(ケーブル使用)
測定場所: 岡山県岡山市(屋外)
測定時期: 7月中旬(日中の時間帯)

使用機器: 片道型石油ストーブ(最大出力)
測定場所: 岡山県倉敷市(室内)
測定時期: 7月中旬

※灯油はポリタンクに入れ、火気のない場所でしっかりと密閉して保管しましょう。翌シーズンに持ち越した灯油を使うと、機器の故障の原因となることがありますので、シーズン中に使い切ることをおすすめします。

全石連発! ガソリンスタンドアイドルユニット “ふるちゃーじ” 結成!

オリジナル発売ソングPV公開中!

毎週当選! Xクイズキャンペーン実施!

公式YouTubeはこちら! [公式Xはこちら!](#)

ふるちゃーじ

【参考】【満タン運動2025】
ふるちゃーじ

https://youtu.be/z2uUTmT-370?si=Q7WWdGYP_eLI6CRr
【出典】全国石油商業組合連合会
「満タン&灯油プラス1缶運動」

SSは災害時における「最後の砦」 ー東日本大震災時における燃料供給の取組みー

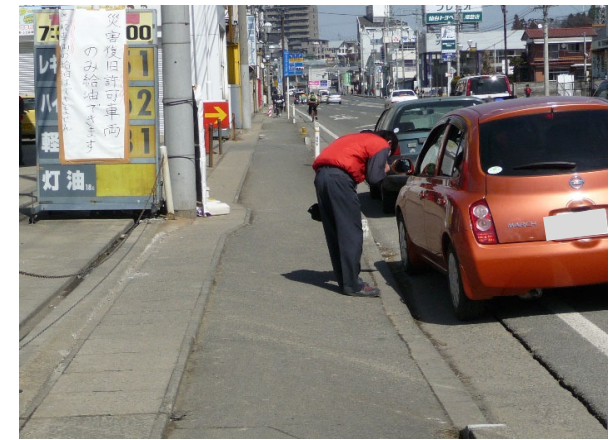
- ❑ 2011(平成23)年3月11日 14時46分に発生した「東日本大震災」により、岩手県、宮城県、福島県など東北地方を中心に、地震や津波、加えて福島第一原発事故等により甚大な被害が発生。
- ❑ 多くのガソリンスタンド(SS)が損壊するとともに、SSスタッフ等の多くが被災している中、自家発電機や手回し計量機等により、緊急車両や病院などの重要施設、避難所等への燃料配送など、当時取り得る手段を用いて燃料供給の確保に懸命に努めた。



灯油購入を求めてSS店頭に並ぶ被災者の方々の列(宮城県多賀城市内のSS)
(2011.4.24撮影)



宮城県仙台市内の避難所で
灯油ストーブで寒さをしのぐ被災者の方々
(2011.3.12撮影)



「災害復旧許可車両のみ給油」との看板を出し一般車両に説明するSSスタッフ
(宮城県仙台市内/2011.3.19撮影)

<仮設SS・ミニSS等>



宮城県東松島市に開設した仮設ミニSS (2011.3.29撮影)



ガソリンを求める給油待ちの車列
(宮城県仙台市内/2011.3.19撮影)